

新人職員として思うこと

公安調査庁 職員A
(平成21年採用・I種)

私は、情報収集・分析活動を通じて、日本社会の安定のために貢献したいという思いから、公安調査庁を志望しました。

入庁から約1年が経過し、現在は本庁の国外調査部門において企画・調整業務を担当しています。他省庁・関係機関等からの照会に対して部内の連絡・意見調整を行い、照会元に回答することが主な業務内容ですが、例えば、他国で発生したテロ事件やサミット等国際会議の動向に至るまで、寄せられる案件は様々です。多様な情報に接する機会が多いため、まだ知識・経験共に乏しい一年目職員の私にとっては、自分の未熟さを感じることも度々ありますが、非常に有意義かつ刺激の多い毎日を送っています。特に、公共の安全を確保する仕事に関わることができていると思えた時には、大きなやりがいと充実感を覚えます。

当庁では性別・年齢を問わず、自分の意欲や能力次第で様々な経験を積み、海外を含めた幅広いフィールドで存分に活躍できる機会が与えられています。また、現在の国内・国際情勢の中で、当庁に課せられた「公共の安全を確保する」という役割は大きく、今後もその重要性は増すと考えられます。少しでも興味・関心をお持ちの方、どのような役所なのか詳しく知らないという方も、是非一度、公安調査庁を訪ねてみてください。お待ちしております。